



IXIL スタイルシェード取付けセット(スリムアームタイプ用) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

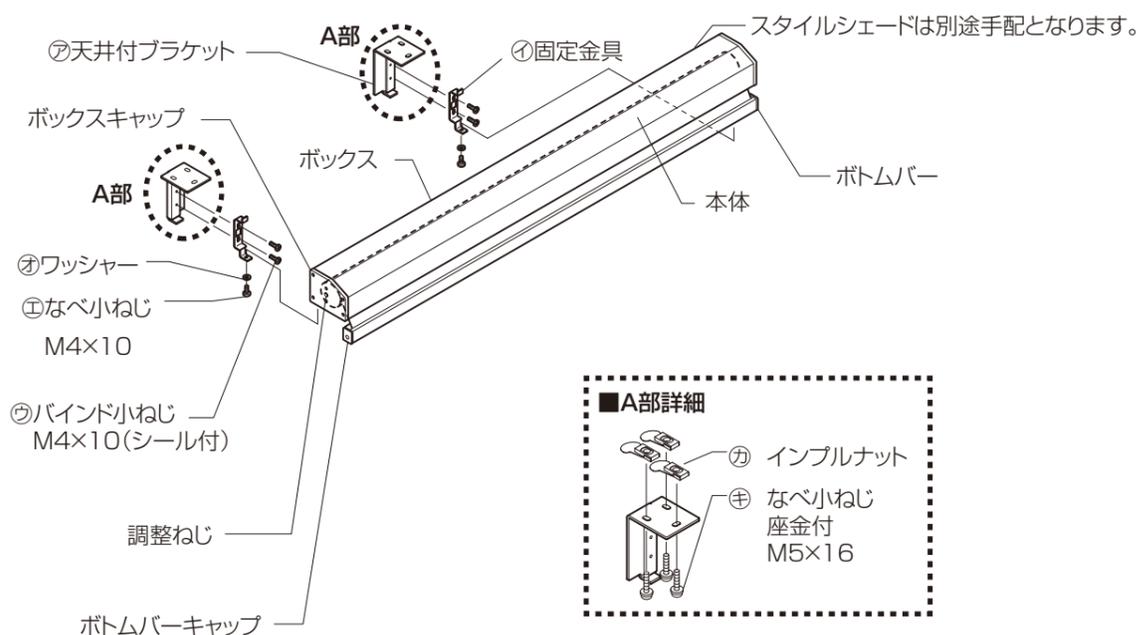
▲注意

- 本製品は取付け部に最大1000Nの荷重がかかることがあります。製品の落下や作動不良の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・2枚仕様は取付けできません。
 - ・必ず指定の位置に取付けしてください。
 - ・必ず同梱のインプルナット、固定ねじで取付けしてください。
 - ・固定ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ [$25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。
 - ・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
 - ・シェードの取付けはアームタイプのみ可能です。それ以外のタイプには使用しないでください。
 - ・取付け後、本体をゆすり、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

■取付け上のお願い

- 木の葉や細かい小枝がたえず動くような風(風速5m/s程度)が吹いているときは、シェードを巻き上げてください。あおられて製品が破損することがあります。
- 生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気をつけてください。
- 外観左側のボックスキャップ中央にシェード巻取りスピードの「調整ねじ」があります。取付けの際は、工具が入るスペースを確保することをおすすめします。
- ひさし本体に穴加工を行うときは、ひさしの上面まで貫通させないように気をつけてください。

■姿図



■部品・ねじ一覧表

<p>⑦</p> <p>刻印</p> <p>シェード取付 ブラケット/LR各1個 ※本図は外観右を示しています。</p>	<p>①</p> <p>固定金具/2個</p>	<p>⑥</p> <p>バインド小ねじ M4×10(シール付)/4本</p>	<p>⑤</p> <p>なべ小ねじ M4×10/2本</p>	<p>④</p> <p>ワッシャー/2個</p>
<p>⑦</p> <p>インプルナット/6個</p>	<p>⑧</p> <p>なべ小ねじ座金付 M5×16/6本</p>	<p>⑨</p> <p>プルコード/1個</p>	<p>⑩</p> <p>取付け説明書</p>	

■取付け順序

1 ひさし本体への取付け穴加工

- ①右の図を参考に加工穴の位置をマーキングします。
※ひさしの先端側から2本目と3本目のライン(Vミゾ)が取付け位置となります。
- ②マークした位置にブラケットを当てて加工位置がずれていないか確認をしてください。
※ブラケットの穴とマークの位置がずれている場合はマークを直してください。
- ③φ9のドリルでひさし本体に穴をあけてください。
※最初に小さい径のドリルで下穴をあけてからφ9のドリルで穴をあけてください。

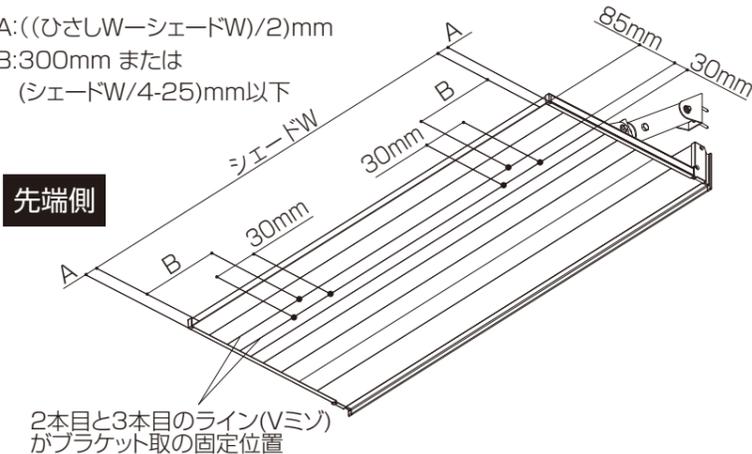
お願い
ひさし本体に穴加工を行うときは、ひさしの上面まで貫通させないようにしてください。

▲注意

- 必ず指定の位置に取付けしてください。製品の落下や作動不良の原因となるおそれがあります。

■ひさし本体への加工位置

A: $((\text{ひさしW} - \text{シェードW}) / 2) \text{mm}$
B: 300mm または
(シェードW/4-25)mm以下



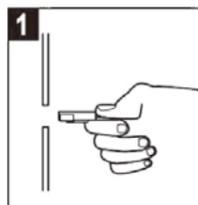
先端側

2本目と3本目のライン(Vミゾ)がブラケット取の固定位置

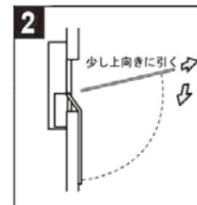
2 インプルナットのはめ込み

- ①右図のように加工穴にインプルナットをはめ込んでください。
- ②インプルナットをはめ込み後、タブを折り曲げてください。

■インプルナットを取付け方法



インプルナットのタブを図のように持ち、下穴に挿入します。



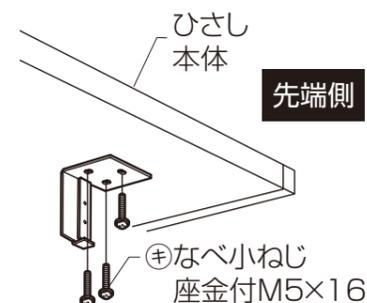
タブを手前に引き、ナットの凸部を下穴に合わせ、タブを下方向へ折り曲げます。

3 シェード取付ブラケットの取付け

シェード取付ブラケットを固定ねじでねじ止めしてください。

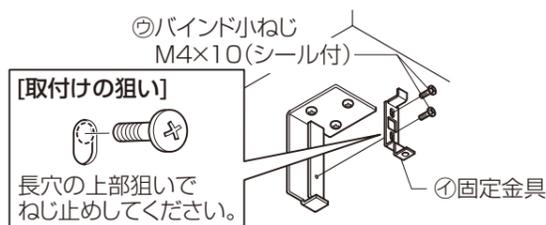
▲注意

- 製品の落下や作動不良の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず同梱のインプルナット、固定ねじを使用してください。
 - ・固定ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ [$25 \pm 5 \text{Kgf} \cdot \text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。



4 固定金具の取付け

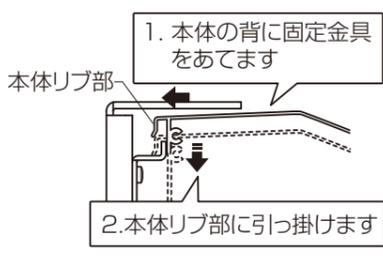
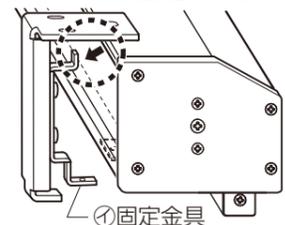
固定金具を天井付ブラケットに取付けます。



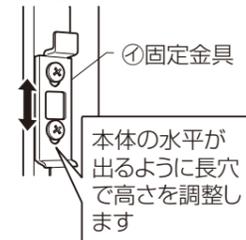
5 本体の取付け

固定金具に本体を下図のように取付けます。

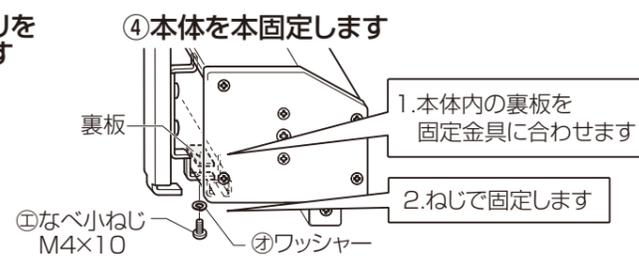
① 本体を仮固定します



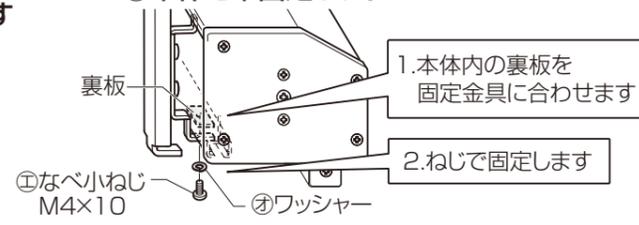
② 高さ調整をします



③ 左右のチリを合わせます



④ 本体を本固定します



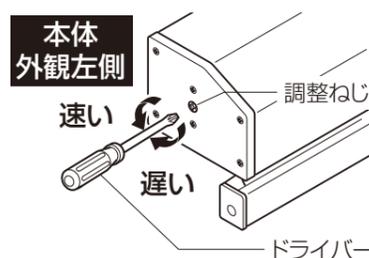
▲注意

- 本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
 - ・本体の固定ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ [$25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

6 生地巻取りスピードの調整

※お好みの巻き取りスピードに変更したい場合のみ実施してください。

生地を引出し、巻取りスピードの確認をしてください。お好みの巻き取りスピードに変更したい場合は、「調整ねじ」でスピード調整をしてください。
※本製品は、ダンパーを搭載しており、生地巻き残り30cm程度から減速し、ゆっくり巻き上がる機構になっています。
※巻取りスピードは、気温やサイズなどにより異なります。



7 プルコードの交換

※取付け高さによりお好みで実施してください。

- ①ボトムバー端部のねじを外し、ボトムキャップを外します。
- ②プルコードをスライドさせ、ボトムバーから外します。
- ③交換するプルコードをボトムバーにスライドさせ、取付けます。
- ④ボトムキャップを取付けます。

